



2020年3月期 連結決算説明資料

2020年5月8日

証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2020年3月期は“19F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、一般オフィス、ハイエンド・ホームユース
ヘルスケア (HC)	医用画像、診断用途、手術室用途
クリエイティブワーク (CW)	グラフィックス用途向け 出版・印刷・写真編集、映像制作
V&S (Vertical & Specific)	様々な環境下で使用可能な、多種多様な業種・分野向け 航空管制、船舶、監視、その他産業用途
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 恵比寿(えびす) TEL：076-275-4121

1. 2020年3月期決算

2. 業績の見通し

3. 参考資料

2020年3月期 決算概要

増収増益 V&Sの販売増加が牽引

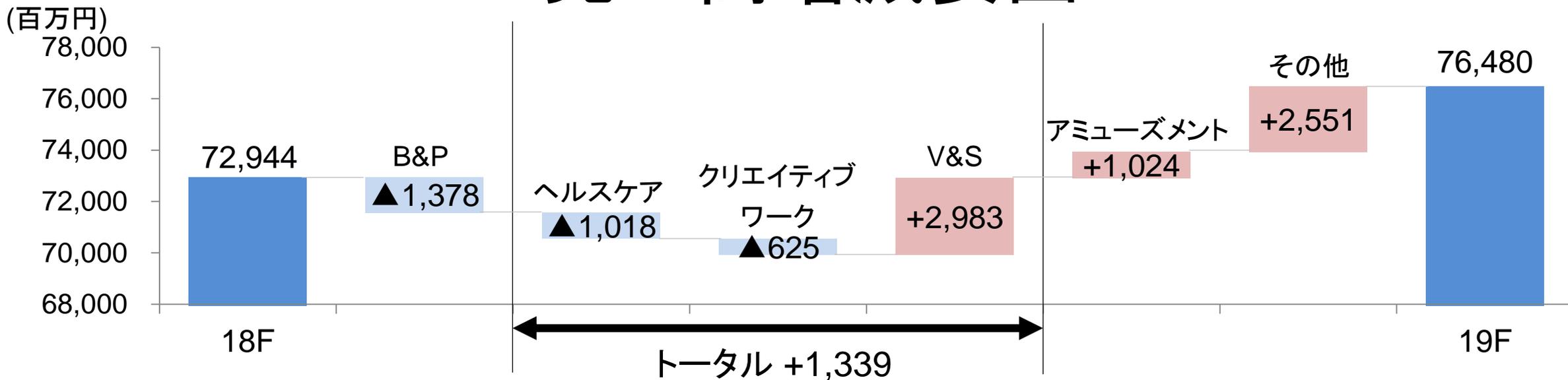
- ヘルスケアの販売は堅調。V&S (Vertical & Specific)の販売は国内外共に伸張
 - ヘルスケア：国内外で診断用途の販売堅調、国内の手術室用途の販売についても増収
低収益の他社製商品販売事業を18Q3より中止した影響を除いた場合、
ヘルスケア全体の売上高は増加
 - V&S： 国内外で販売伸張
航空管制向けでは海外の販売好調により市場シェアNo.1を達成 (2020年4月時点、当社調べ)
- Q4には新型コロナウイルス感染症拡大に伴うテレワーク/遠隔診断等の需要増を取込む
- アミューズメントは市場縮小が継続
過去最高であった06F以降で最低の販売水準となった前期と比較し、
当期の販売は持ち直すも、依然として厳しい状況が続く
- 売上高の増加により、ユーロ安による為替のマイナス影響を吸収し、
前期を上回る営業利益を達成

連結損益計算書

(百万円)

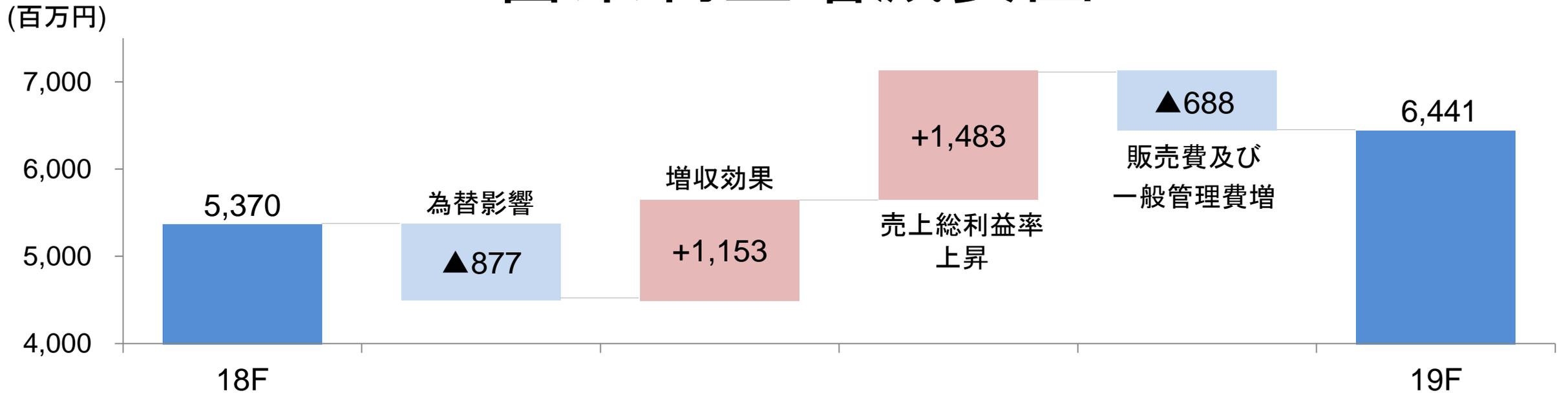
	18F	19F	前期比
売上高	72,944	76,480	104.8%
売上総利益	23,755	25,515	107.4%
売上総利益率	32.6%	33.4%	+0.8pt
販売費及び一般管理費	18,385	19,073	103.7%
営業利益	5,370	6,441	119.9%
営業利益率	7.4%	8.4%	+1.1pt
経常利益	5,710	6,597	115.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,308	4,671	108.4%
為替レート:USD	110.93円	108.70円	▲2.23円
為替レート:EUR	128.45円	120.81円	▲7.64円

売上高増減要因



- B&P: 国内販売は堅調。海外ではユーロ安の影響により販売減少
- ヘルスケア: 診断用途及び手術室向けソリューションの国内販売が好調
低収益の他社製商品販売事業を18Q3に中止した影響により、前期を下回る売上高
- クリエイティブワーク: 欧州を中心に販売が減少
- V&S: 航空管制用途や多種多様なニーズに対応したカスタマイズ製品の販売が好調
- アミューズメント: 規則改正の影響が継続しており、前期に引き続き低調な販売
- その他: アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加

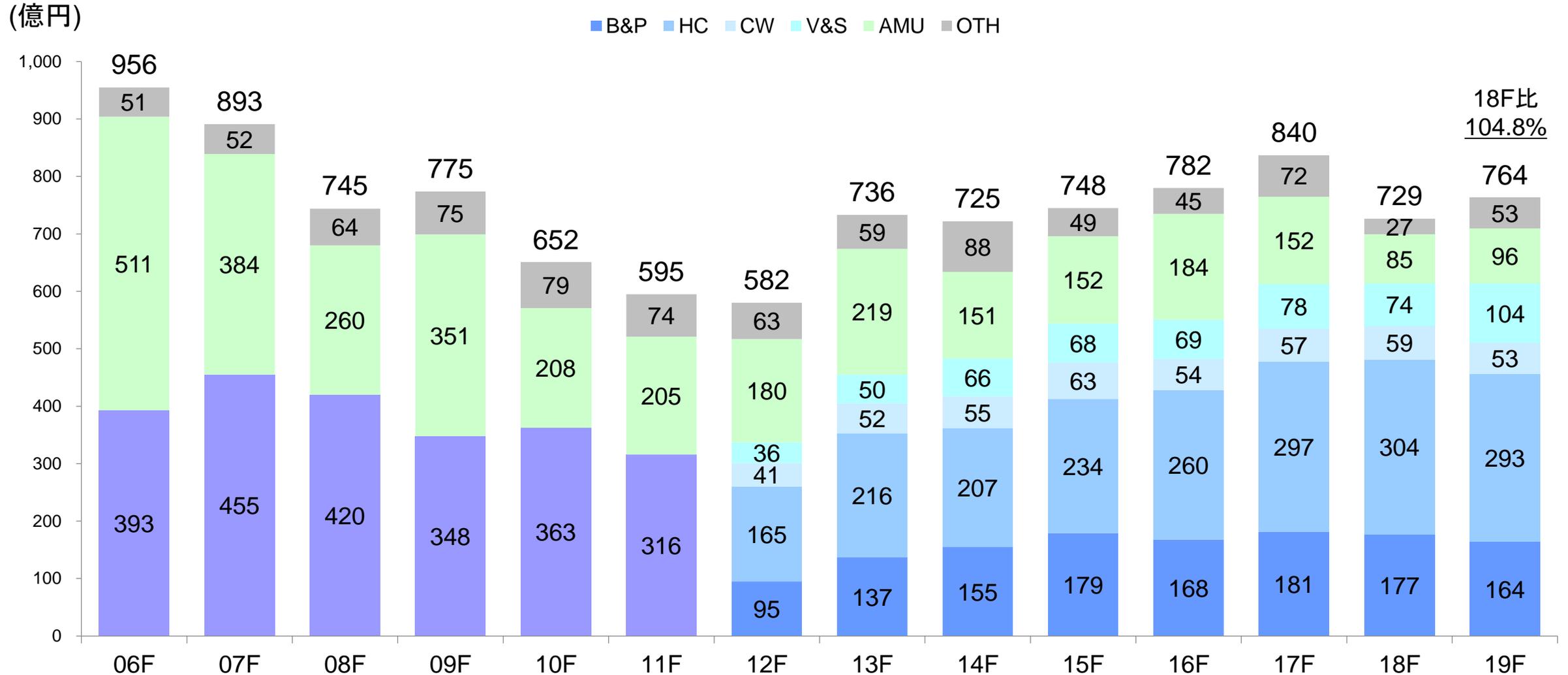
営業利益増減要因



- 為替影響：ユーロ安が進行
- 増収効果：主にV&Sの売上高が増加したことによる
- 売上総利益率の上昇：商品構成の変化による
- 販売費及び一般管理費：経常的な費用については適切にコントロールする中、研究開発投資やITシステム基盤の更新に係る費用が増加

市場別売上高推移

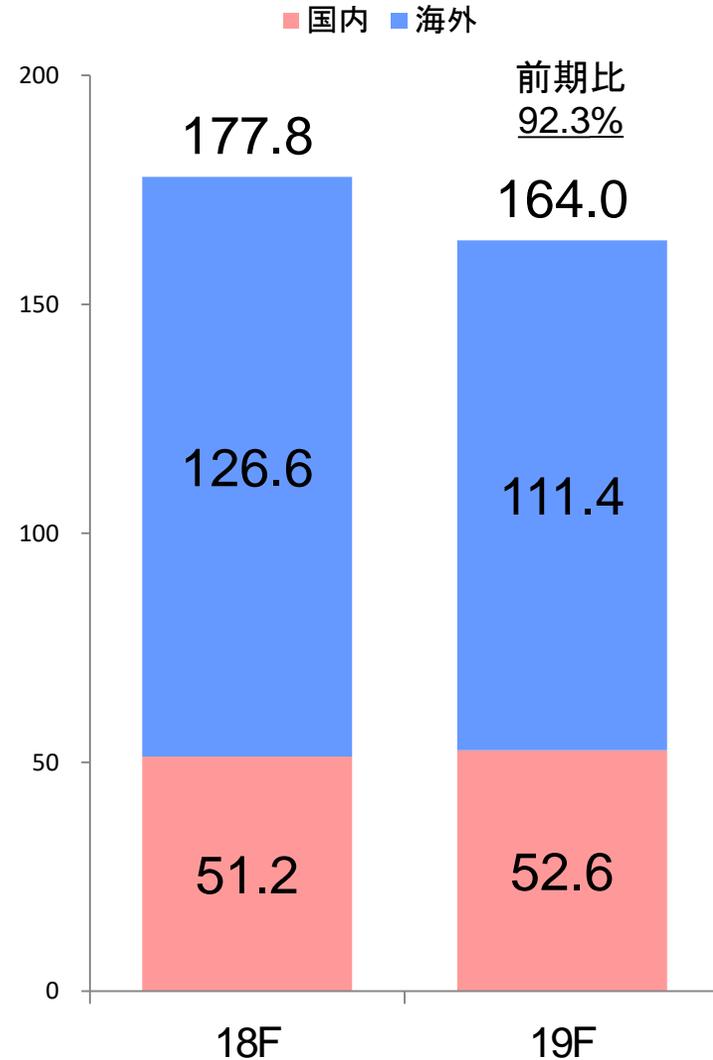
□ V&Sの販売が増加し、前期を上回る売上高



映像表示システム: B&P、HC、CW及びV&Sを総称して表示(06F-11F)

市場別売上高：B&P (Business & Plus)

(億円)



海外

- ユーロ安の影響により販売が減少
- 新型コロナウイルス感染症の流行によるテレワークへの移行が進み、Q4においては一時的に需要が増加

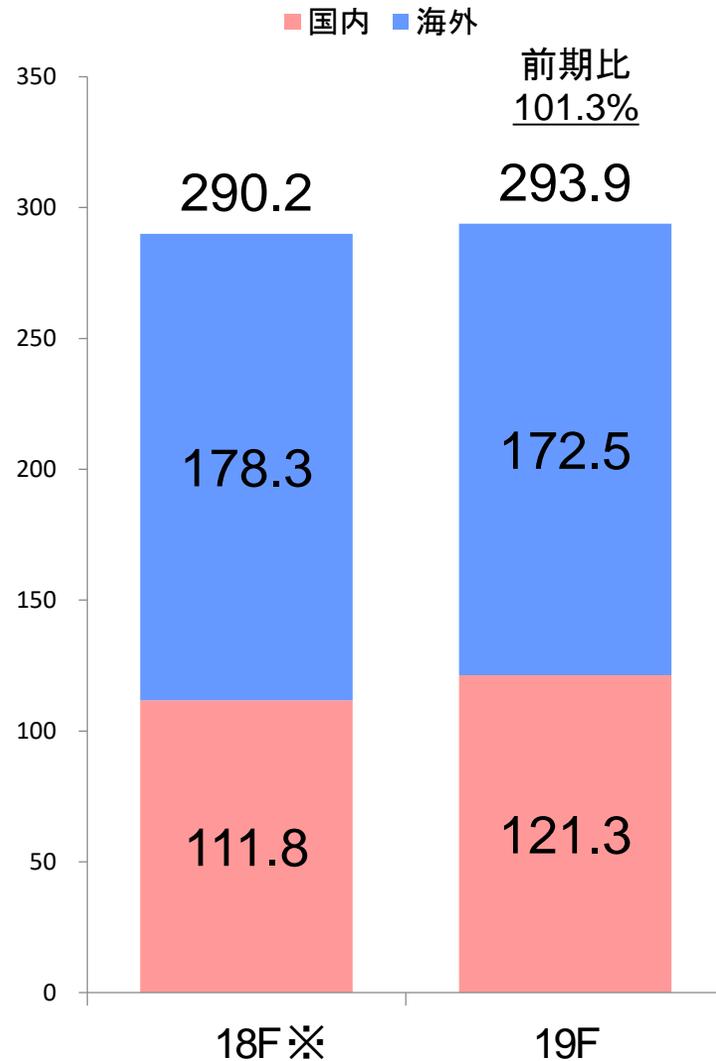
国内

- Windows10への入替需要を取込み、販売増加



市場別売上高：ヘルスケア

(億円)



診断用途

- 北米、中東及びアジア地域での販売が堅調
- Q4においては新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、遠隔診断用途での需要が増加
- 国内では年間を通して設備投資の需要が高く、販売堅調

手術室用途

- 海外での販売が低調
- 国内では、映像記録・配信システムソリューションの販売堅調



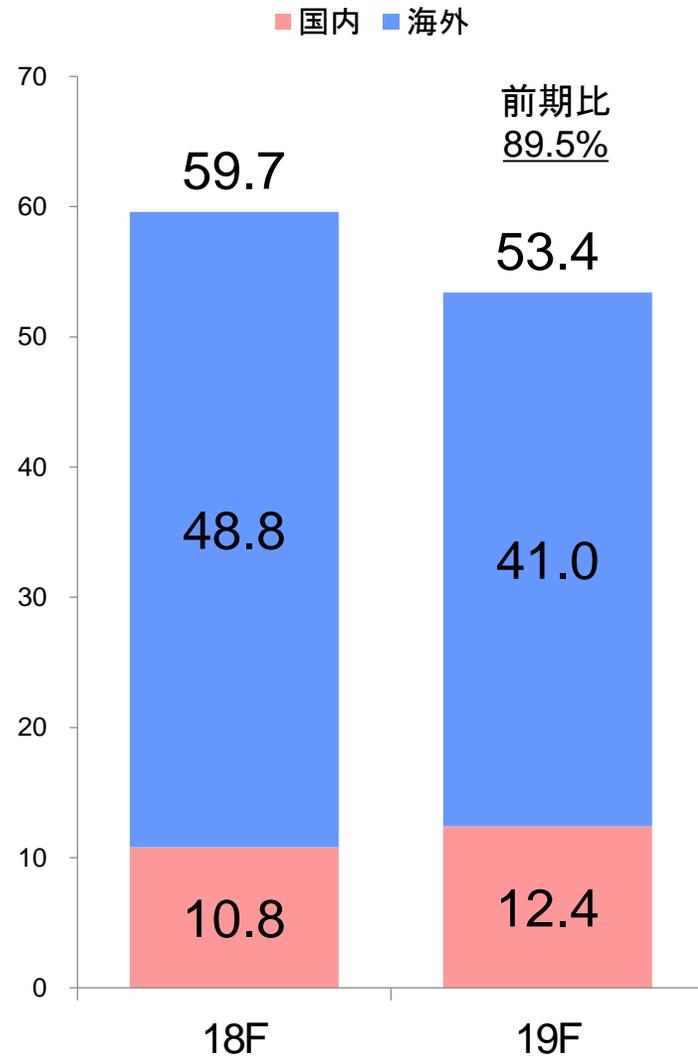
内視鏡用途

- 市場の在庫調整もあり、一時的に需要が落ち込み、販売減少

※18F売上高は18Q3より中止した、国内向け他社製商品販売事業
13.8億円を除いた金額

市場別売上高:クリエイティブワーク

(億円)



映像制作分野

□ 国内外共にHDR対応モニターの販売が好調

静止画分野

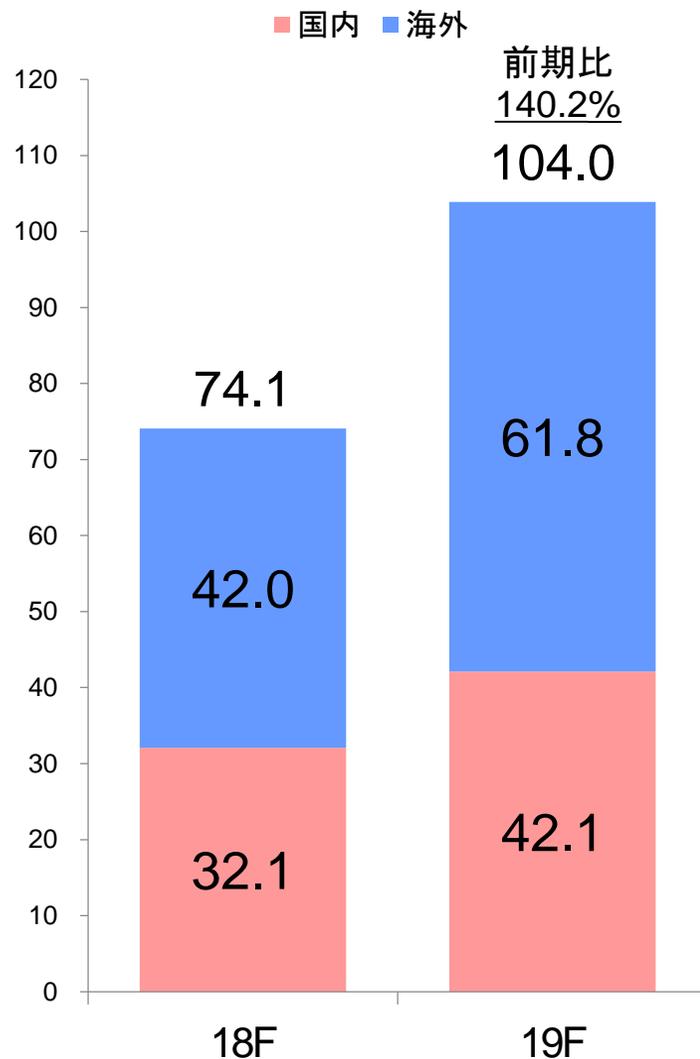
□ 欧州での販売が減少

□ 国内では、
新機種効果のあったエントリーモデルを中心に販売が増加



市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)

(億円)



航空管制用途

- 好調な販売が継続
北米に加えて、中国でも販売増加
- 市場シェアNo.1を達成
(2020年4月時点、当社調べ)

船舶用途

- 販売は堅調

セキュリティ・監視用途

- 海外での販売が減少した一方、
国内での販売が増加

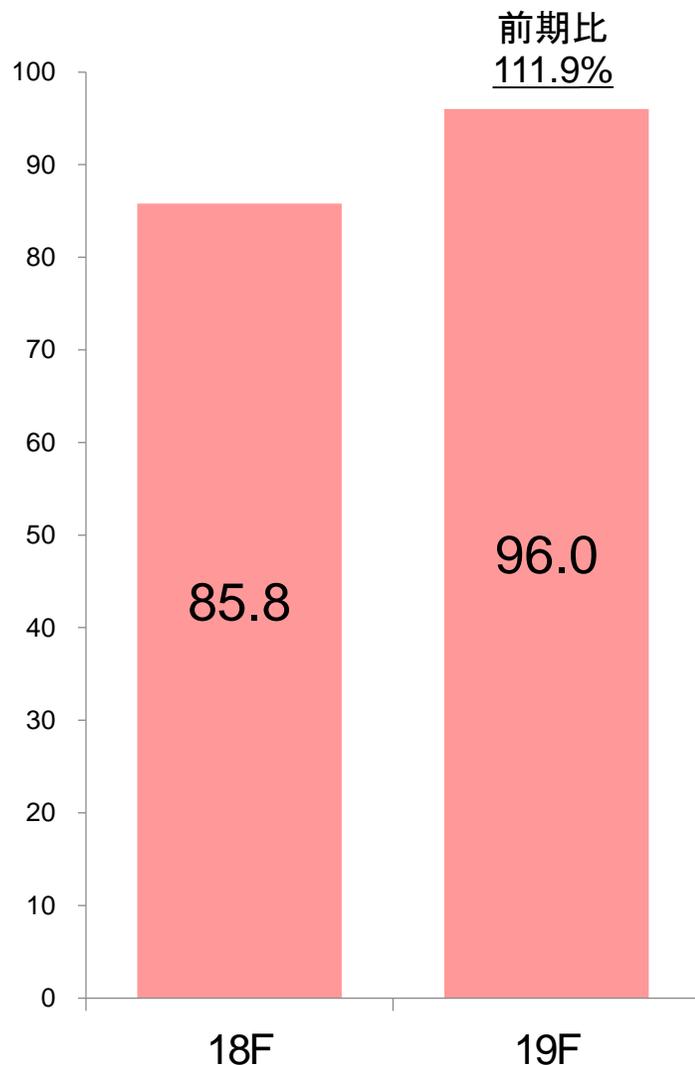
その他

- 顧客の多様なニーズに対応したカスタマイズ製品の販売が増加



市場別売上高：アミューズメント

(億円)



- 遊技人口の減少や規則改正の影響により市場は縮小傾向
厳しい状況が継続
- 前期の売上高は過去最高であった06Fより80%以上落ち込み、
上場来最低を記録
- 当期は新規機種の導入が進み始めたことにより、
前期と比較し販売は持ち直したものの、引き続き販売は低水準



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	19年3月末	20年3月末	増減
流動資産	64,167	67,422	+3,254
現預金	8,399	7,442	▲957
売掛金	17,246	18,479	+1,233
棚卸資産	28,377	29,149	+772
有形固定資産	14,321	16,343	+2,022
無形固定資産	3,219	2,814	▲404
投資その他の資産	39,715	38,703	▲1,011
資産合計	121,423	125,284	+3,860
流動負債	15,673	18,249	+2,576
固定負債	10,826	11,055	+229
純資産	94,924	95,979	+1,055
負債純資産合計	121,423	125,284	+3,860

有形固定資産

ドイツ及びイギリス子会社の新社屋取得や
本社新製造ラインの稼動開始により増加

棚卸資産 / 流動負債

安定供給のため戦略的に材料を仕入れた
ことにより原材料在庫及び買掛金が増加

研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

	18F	19F	前期比
研究開発費 ※製造費用計上分を含む	59.3	59.9	101.0%
売上高研究開発比率	8.1%	7.8%	▲0.3pt
設備投資	41.2	43.4	105.4%
減価償却費	27.5	29.8	108.5%

研究開発費

- 先行投資が一巡した一方、新機種開発にかかる開発費が増加し、前期並みの水準

設備投資

将来成長のための投資を継続

- 本社工場棟 生産ライン増設
生産性向上、HC/CW/V&Sの需要増加に対応
- ドイツ子会社EIZO GmbH 工場棟新設
品質、生産性向上、ヘルスケア事業拡大
- イギリス販売子会社EIZO Limited
新社屋移転
販売力強化、HC/CW/V&Sの事業を拡大

1. 2020年3月期決算

2. 業績の見通し

3. 参考資料

2021年3月期 業績の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、
2021年3月期の業績予想は未定

- 新型コロナウイルス感染症拡大による当社事業への影響
 - 各市場向けにおいて販売時期の遅れが見込まれる
 - B&Pやクリエイティブワーク市場向けを中心とした消費落ち込みによる販売への影響
 - アミューズメント市場において、緊急事態宣言を受けて全国の多数の店舗が営業を自粛しており、当市場向けの販売への影響

今後、合理的な見積りが可能となった時点で、速やかに公表いたします。
2021年3月期第1四半期、または第2四半期決算発表時までには公表する予定です。

また、2021年3月期の配当についても未定とし、業績予想の発表時に開示する予定です。

当社グループにおける 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

- 全グループ会社において感染拡大防止のための対策を徹底
 - 在宅勤務及びシフト制勤務への変更
 - 食堂など建屋内及び事務室内の感染予防対策を強化
 - 2月半ばより出張禁止を継続
 - 石川県の本社工場及び七尾工場においては社員の安全やリスク低減のため、GW期間中(4月29日から5月10日)の稼働を停止

- 製品・サービスを安定的に供給
 - 国内外の全てである7つの生産拠点は稼働を継続
(2020年5月8日現在。上記GW期間中の停止を除く)
 - 調達面においても、サプライチェーンが厳しい状況にある中、安定調達に努める

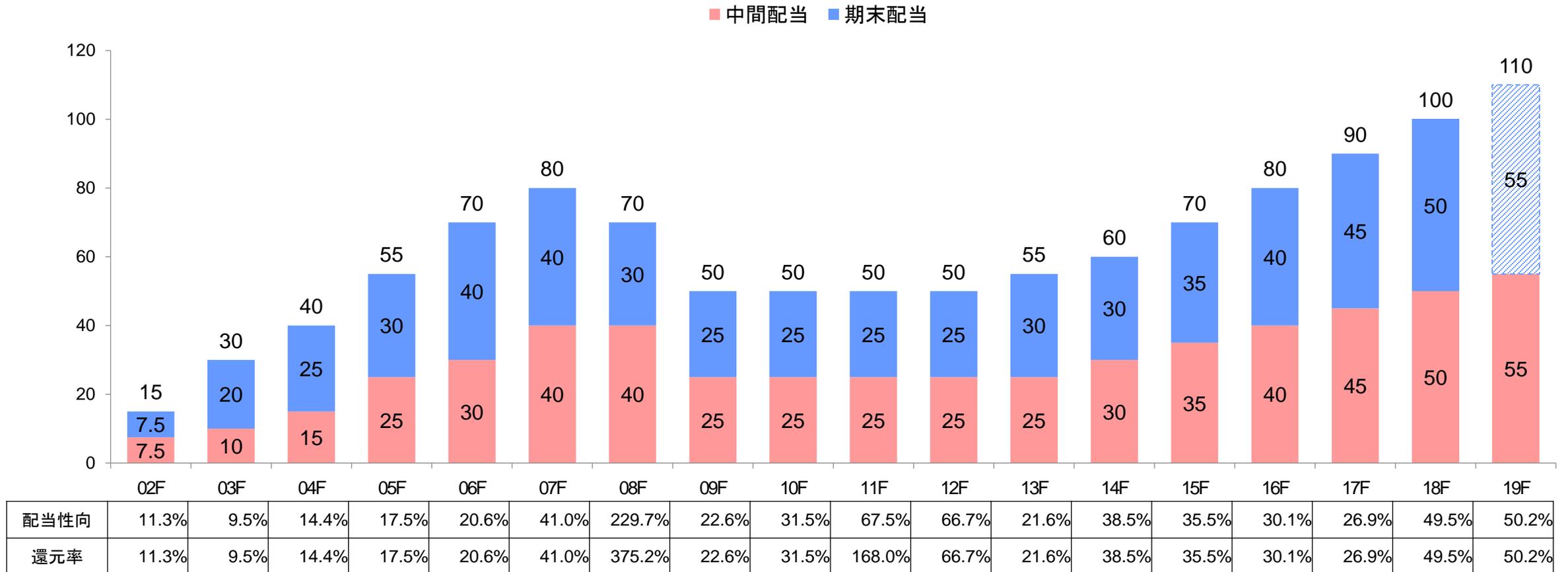
- 強い財務基盤を活かし、将来成長のための投資を継続
一方で、固定費は状況に応じ抑制する等適切な管理を実施

株主還元

●株主還元方針

- ・当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案し、配当や自己株式取得等の株主還元を実施してまいります
- ・株主への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の40%~50%を目標水準としております

(円 / 株)



1. 2020年3月期決算

2. 業績の見通し

3. 参考資料

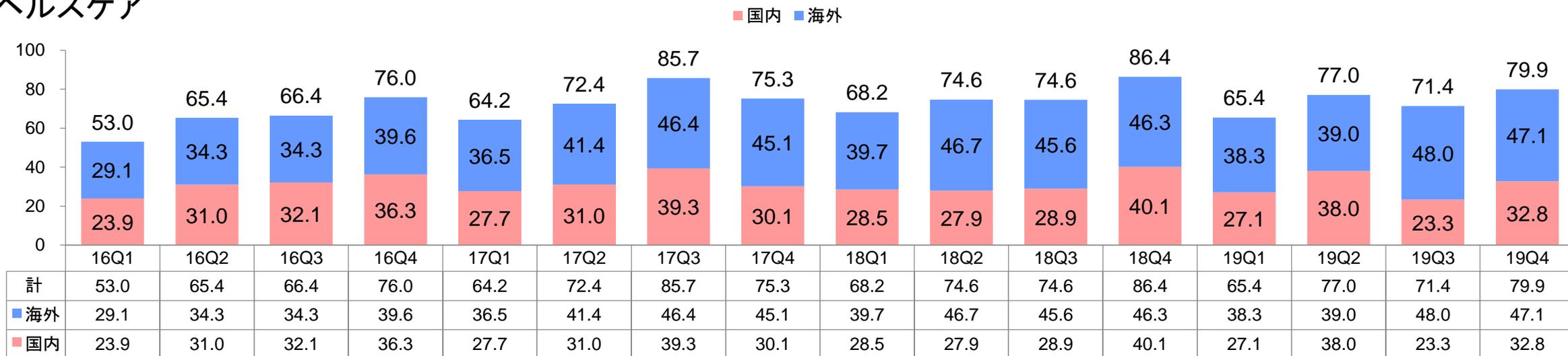
市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

B&P



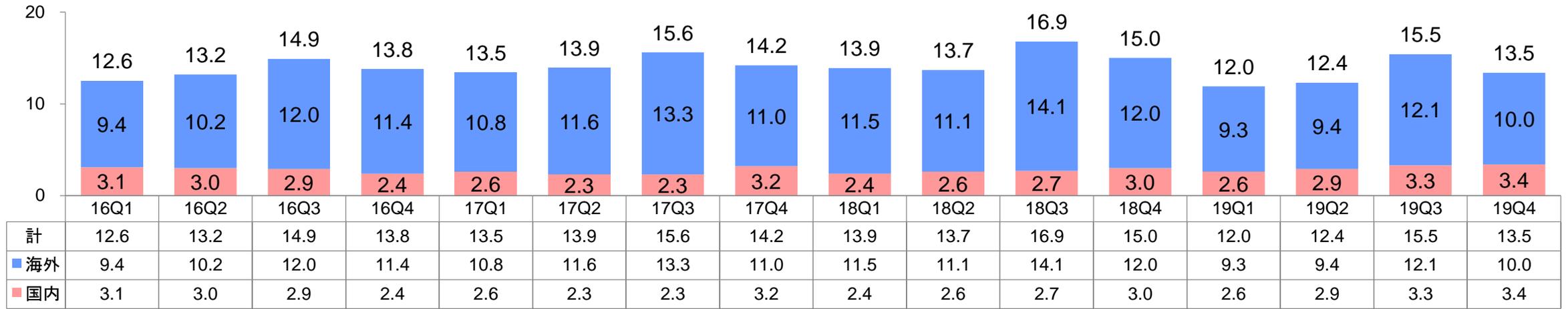
ヘルスケア



(億円) 市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

クリエイティブワーク

■ 国内 ■ 海外



V&S

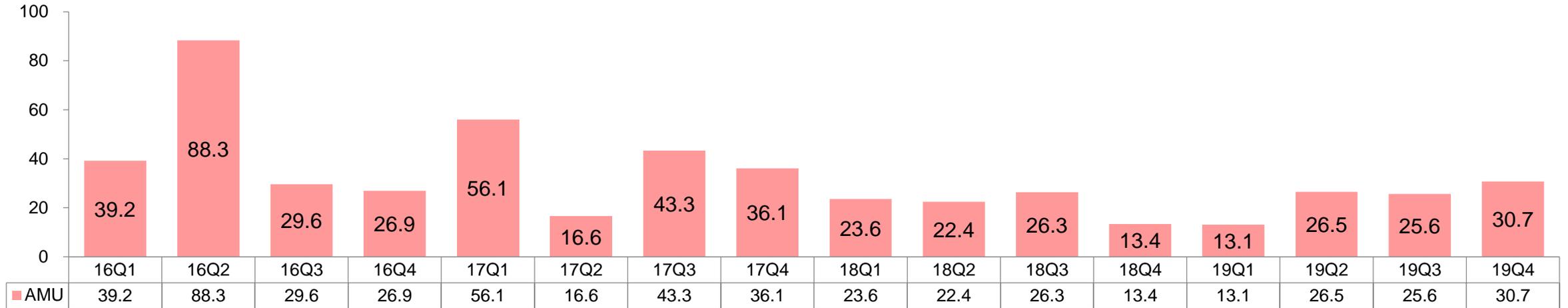
■ 国内 ■ 海外



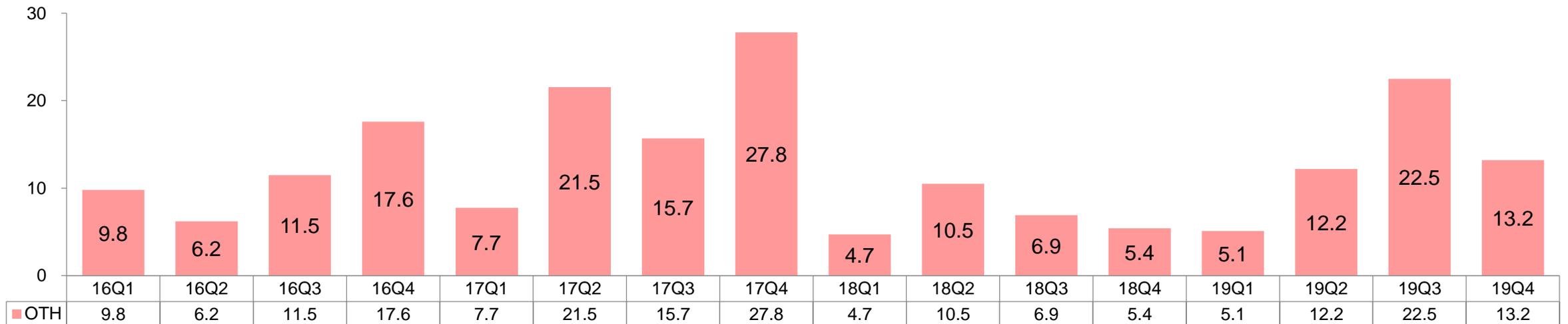
市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

アミューズメント

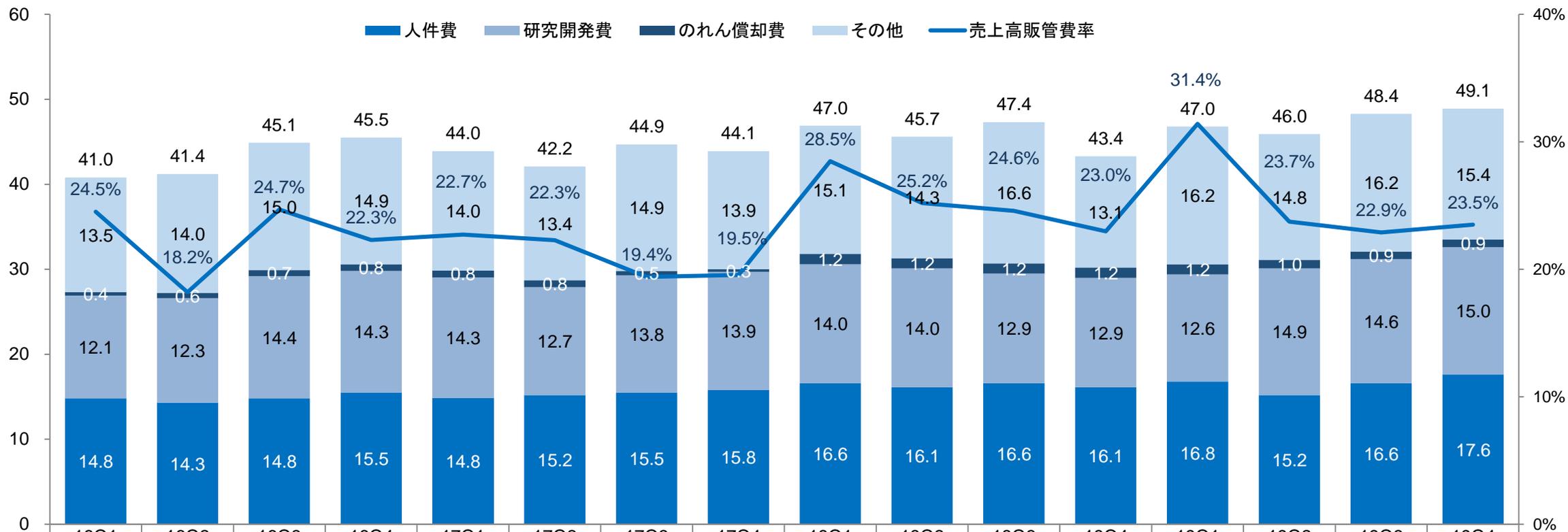


その他



販売費及び一般管理費推移

(億円)



	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4	19Q1	19Q2	19Q3	19Q4
計	41.0	41.4	45.1	45.5	44.0	42.2	44.9	44.1	47.0	45.7	47.4	43.4	47.0	46.0	48.4	49.1
その他	13.5	14.0	15.0	14.9	14.0	13.4	14.9	13.9	15.1	14.3	16.6	13.1	16.2	14.8	16.2	15.4
のれん償却費	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.5	0.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.0	0.9	0.9
研究開発費	12.1	12.3	14.4	14.3	14.3	12.7	13.8	13.9	14.0	14.0	12.9	12.9	12.6	14.9	14.6	15.0
人件費	14.8	14.3	14.8	15.5	14.8	15.2	15.5	15.8	16.6	16.1	16.6	16.1	16.8	15.2	16.6	17.6
売上高販管費率	24.5%	18.2%	24.7%	22.3%	22.7%	22.3%	19.4%	19.5%	28.5%	25.2%	24.6%	23.0%	31.4%	23.7%	22.9%	23.5%

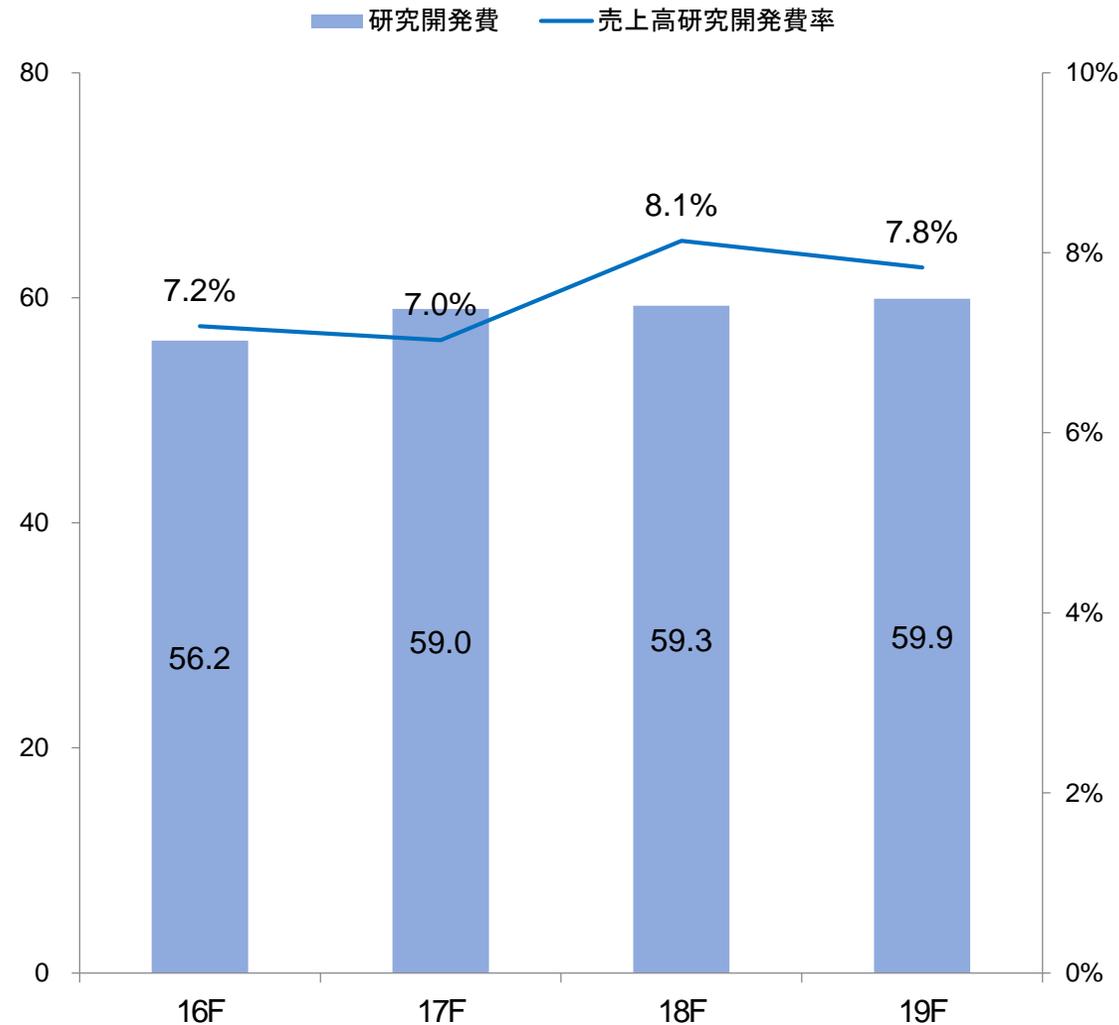


研究開発費 / 設備投資推移

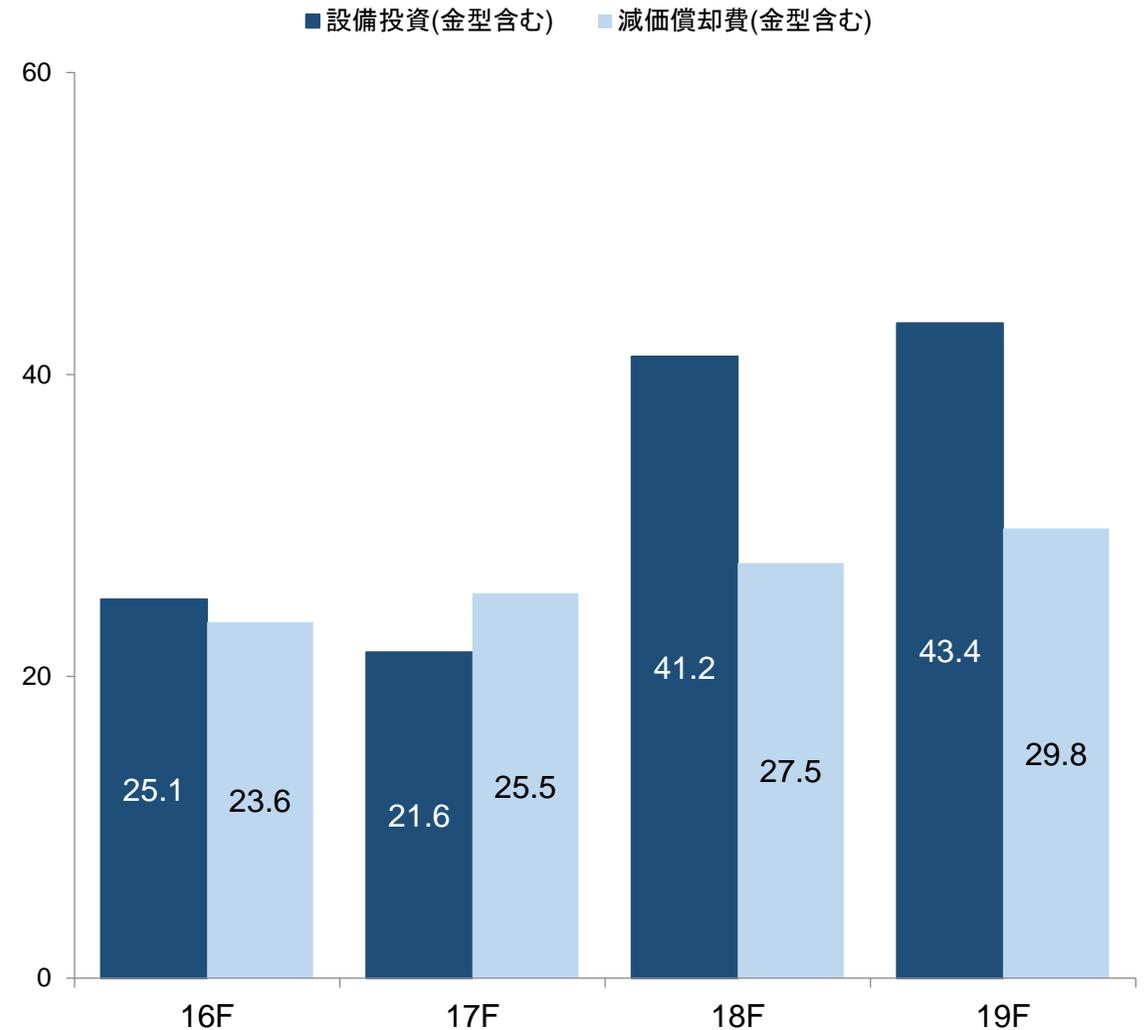
(億円)

研究開発費

※製造費用計上分を含む



設備投資 / 減価償却費





Visit us online
www.eizo.co.jp